

# 令和5年度 ふるさと教師塾 振り返り



磐田市では、「ふるさと教師塾」を開催し、市内臨時講師や大学生など、教師を目指す者が講話を聞いたり、グループワークで語り合ったりして、教育についての見識を深めています。令和5年度は、全6回の講義・演習を行いました。(この他に2回、県教員採用試験対策も行いました。)

## 第1回(6月14日)

- 教育長あいさつ
- ふじのくにでねらう教員像について  
(県教員採用試験対策)

第1回は、山本敏治教育長に「磐田の教育」の目標や主な施策をお話していただきました。また、7月の県採用試験に向けた心構えや、静岡県を求める教員像についても学びました。塾生同士がペアとなり、面接練習も行いました。



\*子どもの「心理的安全性」を大切にしていきたいでしょう！

「面接練習では、他の方の受け答えの様子を見て自分を振り返ることができました。試験のイメージがわき、勉強のモチベーションになりました。」(大学生)

「手のかかる子と見るのではなく、その子自身が困り感をもっていると捉えていこうと改めて思いました。」(市内臨時講師)

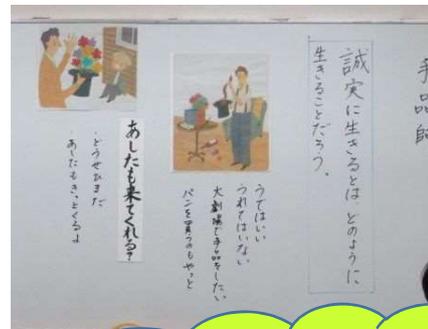
## 第2回(7月12日)

- 「特別支援の視野を広げよう」  
～個に応じた支援の方法をいくつかの事例を通して考えてみましょう～
- 「子どもの行動には意味がある」ということから、事例を「原因・行動・結果」で分析し、塾生同士で共有しながら支援方法を考えました。また、スモールステップでの声掛けや感情的になってしまう子への支援方法なども学びました。



## 第3回(9月13日)

- 「道徳の授業を考えよう」  
～指導過程や発問について考えてみましょう～
- 塾生が児童となり、1時間の授業を受け、体感しながら道徳の授業について学びました。児童生徒に考えさせる場づくりの工夫とともに、教師の発問や板書の仕方など、ひと工夫する指導技術も身に付けることができました。



「授業の展開や発問の仕方を子どもの目線から知ることができました。」  
(市内臨時講師)

「授業を構想する上で、  
自分自身が子ども  
たちにどのような考えを  
もってほしいのかを明確  
にしていくことが大切だ  
と思いました。」  
(市内臨時講師)



#### 第4回 (10月11日)

- ・「子ども発の授業を考えてみよう」  
～授業をデザインするとは～

子ども発の授業を行うにあたり、どんな段階をふんでいけばよいのでしょうか。「構想・展開・省察」の各段階で必要なことを確認しながら学んでいきました。また、「授業をデザインする」にあたり、6つの視点からシートにまとめ、実際に授業づくりを体験しました。

#### 第5回 (11月8日)

- ・『対話』の力を育てよう  
～人間関係を円滑にし、学びを深める対話について  
考えてみましょう～

対話の力を育てるもとは、「よい聴き手を育てること」。塾生同士でコミュニケーション・トレーニングを行い、どんなことを意識して聴くとよいのかを知りました。また、聴かせるためにどんな話し方をするとよいのか実践しながら学びました。

〇めざす姿(中学校卒業時の姿)  
・正確に聞き取り、受容・共感できる、質問できる

**よい聴き手** を育てる

〇方法  
・コミュ・トレの時間を設ける  
・1対1で「話す・聞く」の訓練をする

「対話において、聴く側の大切さがよく分かりました。うなずきながら知りたいと思って聴いてくれるだけでとても話しやすいと感じました。」  
(大学生)

#### ☆塾生から出た意見(一部)☆

- ・幼小中での交流活動を増やす。
- ・地域の人と関わる機会や空間をつくる。
- ・自分の意見や考え方をもちつための仕掛けを授業の中で行う。
- ・多くの目で子どもが見られる「チーム担任制」や複数体制で教育を行う「バディ制度」を導入する。
- ・子どもが本物に触れる機会を増やす。

#### 第6回 (12月13日)

- ・『磐田の教育』の魅力と『これからの教育』とは  
山本敏治教育長から、磐田の教育で目指す子どもの姿についてお話いただきました。「人と人とのつながりやかかわり」を根底におき、様々な施策が行われていることを学びました。また、グループワークを行い、「これからの磐田の教育に向けて、どんな取り組みをしていくとよいか」について意見を話し合いました。

#### 【塾生の感想】

- ・反省することばかりで、あっという間に過ぎていく日々ですが、教師塾に参加し、大切にしたいことを改めて考えさせられました。来年からも子どもに希望をもち、明るいい心で教育と向き合えるよう頑張りたいです。(市内臨時講師)
- ・同じ立場の人たちと語り合う機会が少ないので、教師塾をいつも楽しみにしていました。自分にはない発想があり、有意義な時間を過ごすことができました。(市内臨時講師)
- ・一人では分からないこと・気付けなかったことを、教員を目指している方や現場で働かれている方と直接話せて知ることができ、とても勉強になりました。教員になりたいという気持ちがさらに強くなりました。(大学生)

